日本海地域の自然と環境

資源リサイクルと環境

工学部電気電子情報化　22221280　渡辺悠斗

課題1

回収後の残渣を調べる

残った鉛の溶け出しやすさを調べ有害性を確認することが大切である。廃棄物中の鉛の量が減ったからといって有害性が低いとは言えないからである。また、鉛のみならず、回収率を上げることと、他の成分を調べることも必要がある。

課題２

　リサイクルでの問題点は、リサイクルの過程でエネルギーやコストが高くなってしまう場合や、実際に再利用できるかどうかである。分別や収集でコストが高くなってしまったり、選別の段階でゴミになってしまう割合が高くなってしまうことがある。

課題３

　有害物質が発生するところから最終的にどこに向かうのかを見える化することである。細かく言うと、どの物質をどんな工程でどれくらいの割合がそのまま残るのかであったり最終的に課題１でもあったようにリサイクル後の有害性はっきりさせておく必要がある。